

囲碁AI

十勝医師会
公立芽室病院

服部 哲夫

近年AIの進歩はめざましく、囲碁将棋においても完全に棋士を凌駕しました。

2016年3月にAlphaGoが李世乭9段（韓国）を4-1で破り、2017年5月にはAlphaGo Masterが世界最強の呼び声も高い柯潔9段（中国）を3-0で下しました。その後、全くこれまでのBig dataによる学習なし、ルールだけ教えられ自己対局によって学習したAlphaGo Zeroが出現し、AlphaGo Masterを破っています。

このような囲碁AIの出現は、これまでの囲碁の伝統的手法を大きく変え、専門棋士の碁を大きく変えつつあります。発想、手法の自由度を上げ、囲碁の発展にpositiveな影響を与えています。

これまで囲碁AIが打った手に至った思考経過はBlack Boxでした。しかし、開発企業が明らかにしないだけで、その局面での選択可能性のある手とその評価値が克明に記録されているようです。それは理由を理解できないと身に付かない人間にとって大きな力となるでしょう。

さて、医療にAIが導入される日も遠くないと思われます。

AIの門外漢なので勝手に想像を巡らせると、囲碁AIに見られたように選択される病態や治療が列挙され、各々の評価値が示されるならば、これまでの医学・診療の枠内で大きな力となる可能性があります。

しかし、囲碁に比べ、医学・医療はとてつもない大きなパイですから、多大な資源がぎ込まれ、きっとそのような脇役ではなく、従来の枠を超えた驚天動地の変化をもたらす予感がします。

ただ、その頃は小生も引退していることでしょうから、その混乱(?)を高みの見物できることを楽しみにしています。

(囲碁好きな人に)

ご存じかと思いますが、最近、囲碁ソフト「天頂の囲碁7 Zen」が発売されました。強い！です。お手頃な価格ですので、ぜひ試してください。

家事と人工知能

札幌市医師会
荒木病院

荒木 直子

出産後、育児休業を経て勤務を再開してから、この春で9年になります。この間、仕事を続けてこられたのも、多くの先生方やスタッフの皆様方のご協力の賜物です。この場をお借りして、御礼申し上げます。

毎日、仕事を終えて帰宅すると、すぐに家事に取りかかっています。平日は主に、食事の支度、後片付け、洗濯、翌日の準備です。文章にすると文字数はわずかですが、実際に行う作業には、それなりに思案をし、時間を要しています。家族の安楽で快適な生活のためと思って励む一方、負担に感じることもあります。

食事の支度は、調理の前に、栄養のバランスを考えて献立を決定し、食材の準備、冷蔵庫の在庫管理など、さまざまな段階を経る必要があります。また、洗濯も同様で、単に洗濯機を回して干すだけではなく、色物の仕分けや、乾いた衣類の取り込み、それを畳んで家族別に収納する、などの複数の過程が含まれています。

これらの家事は、人工知能(AI)を有する電化製品やロボットの開発・発展により、大幅に軽減される可能性が既に示されています。庫内の食材から献立を提案してくれる冷蔵庫や、お勧めメニューを提案し調理を行う自動調理器が既に発売され、数年以内には、家族別に仕分けし折り畳む機能を持つ全自動洗濯乾燥機の発売が予定されているといえます。

まさに私が悩ましく思っている家事を、AIが代わりに担ってくれようとしています。現在のところ、私がこれらの電化製品を購入する予定はないのですが、娘が職業人となり家庭を持つ頃には、さらに進化した製品が嫁入り道具となっているかもしれません。

私は母が長く働きながら家庭を運営してきた様子を見ていたので、自分もなんとか自力で、仕事と家庭を両立させたいと考えてきました。自分が思う理想とは程遠いながら、将来、娘にとって身近な見本になりうると前向きに考えていますが、私の苦労はむなしく「お母さん、それは〇〇がやってくれるよ」と娘に軽くあしらわれるかもしれません。家事の手間はAIが担ってくれますが、世の母親が家事に込めている想いはどこに向かっていくのでしょうか。AIの躍進を耳にするたび、気になっています。